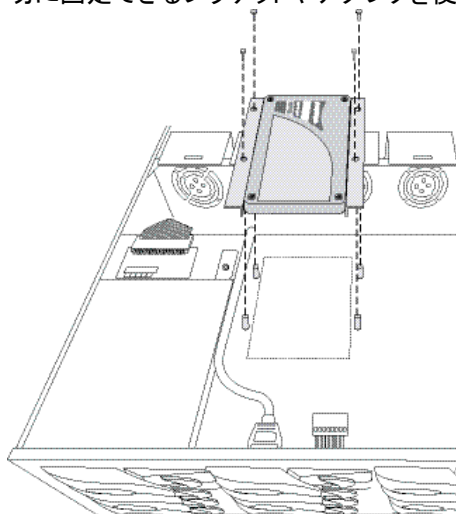
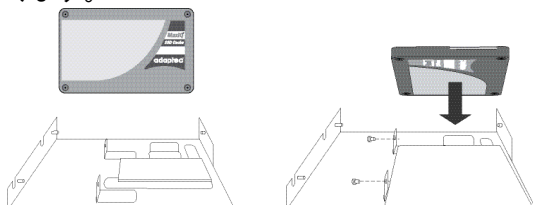


## MaxIQ のインストールについて

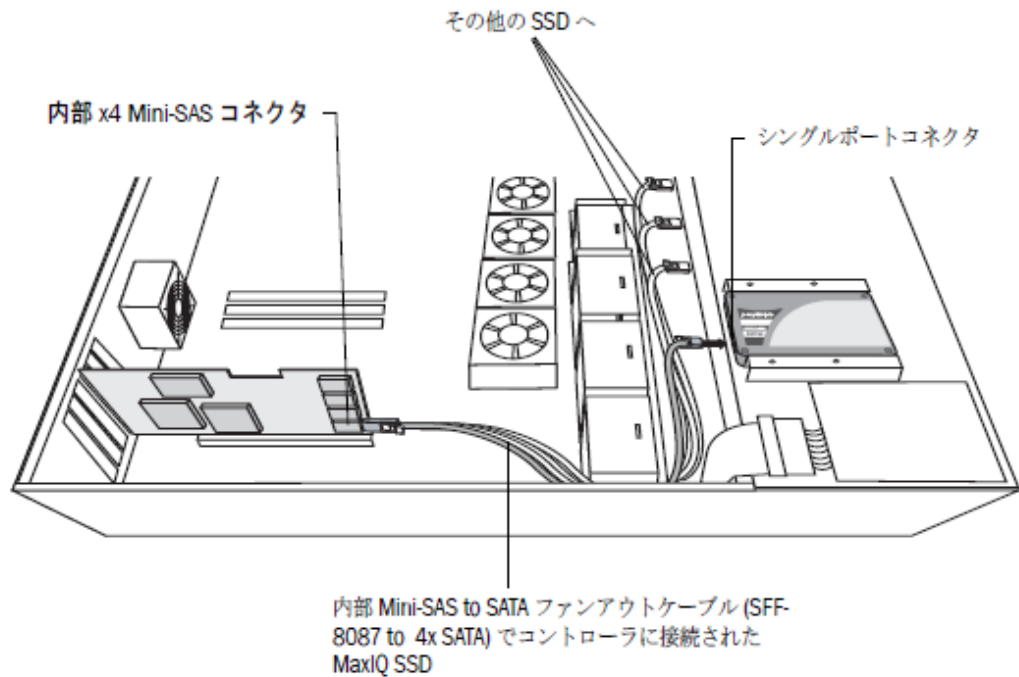
1. Adaptec RAID コントローラの BIOS を最新版(B17517 以降)にアップデートしてください。
2. Adaptec RAID コントローラに最新のドライバ(V5.20.17517 以降)をインストールしてください。
3. Adaptec Storage Manager を最新版にしてください。(MaxIQ に添付の CD を使用してインストールできます。)
4. 以下の 1) から 3) の手順に従い、MaxIQ SSD をサーバに直接接続します。Adaptec ブランドの MaxIQ のみが MaxIQ として使用できます。(バックプレーン経由の場合は、バックプレーンに接続してください。)
  - 1) Adaptec MaxIQ SSD をサーバに接続します。標準の 2.5 インチベイのあるサーバでは、SSD をトレイに直接接続します。お使いのサーバに標準の 2.5 インチベイがない場合、適切に固定できるブラケットやアダプタを使用します。



サーバに 2.5 インチトレイがない場合、2.5" to 3.5"アダプタを使用して MaxIQ SSD を取り付けます。



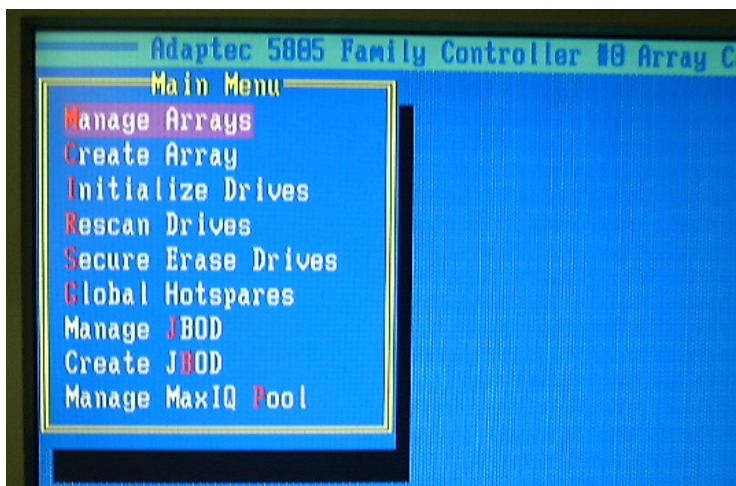
- 2) SSD をコントローラに接続するには、以下の例のように、内部 Mini-SAS to SATA ケーブルを使用します。



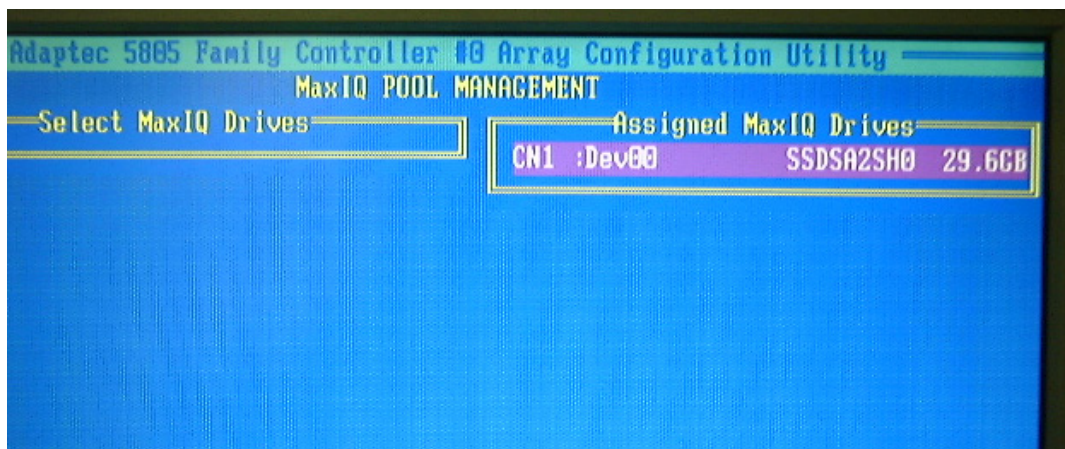
- 3) 全ての MaxIQ を接続し終わったらキャビネットをとり、電源を入れます。
5. 再起動してから、BIOS ユーティリティまたは、Adaptec Storage Manager を使用して MaxIQ を設定します。

**ACU (BIOS ユーティリティ)を使用して MaxIQ を設定するには**

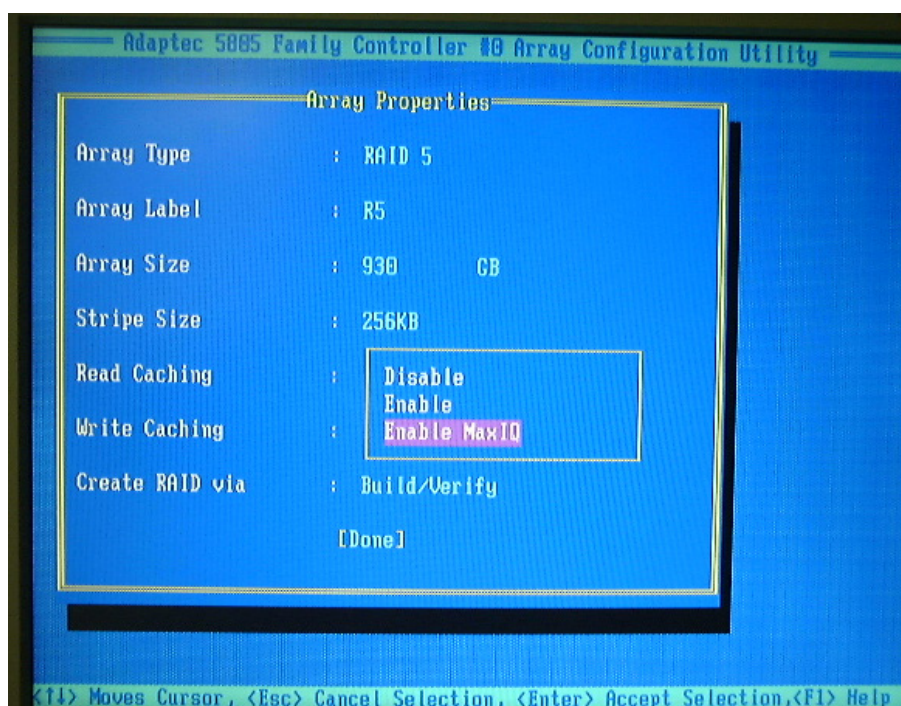
- 1) 起動中に Ctrl+A を押して、BIOS ユーティリティ(ARC)を起動します。
- 2) 複数のコントローラがある場合、お使いのコントローラを選択し、Enter を押します。
- 3) Array Configuration Utility(ACU)を選択し、Enter を押します。
- 4) ACU メニューの Main から Manage MaxIQ Pool を選択します。全ての対応する SSD が表示されます。



- 5) 矢印キーを使用して、リストから SSD を選択します。

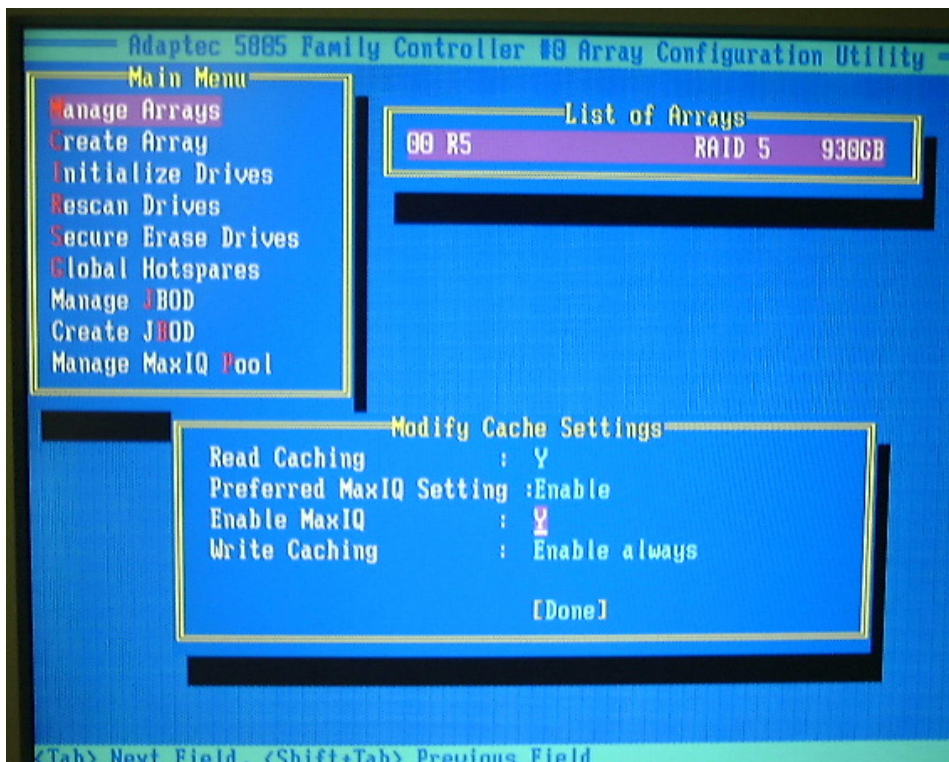


- 6) Ins を押して SSD を MaxIQ プールに追加します。  
7) SSD をプールから取り外すには、右矢印を押してウィンドウを切り替え、矢印キーを選択して SSD を選択し、Del を押します。  
8) Enter キーを押して変更を保存し、メイン メニューに戻ります。  
9) MaxIQ の Enable/Disable 設定設定  
RAID ボリューム新規作成時に MaxIQ Enable/Disable を設定





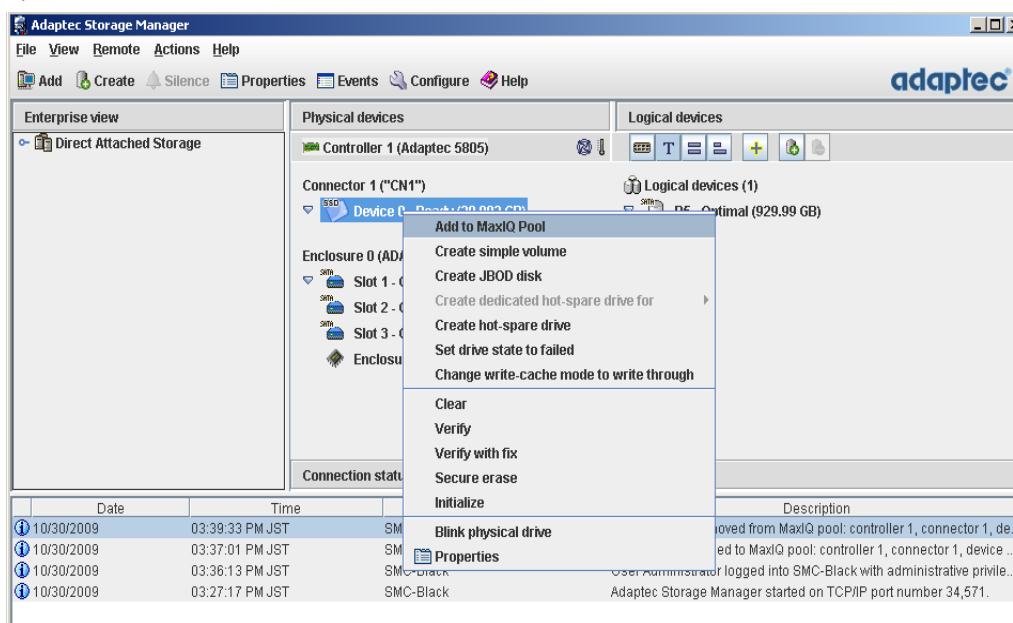
既存の RAID ボリュームで設定



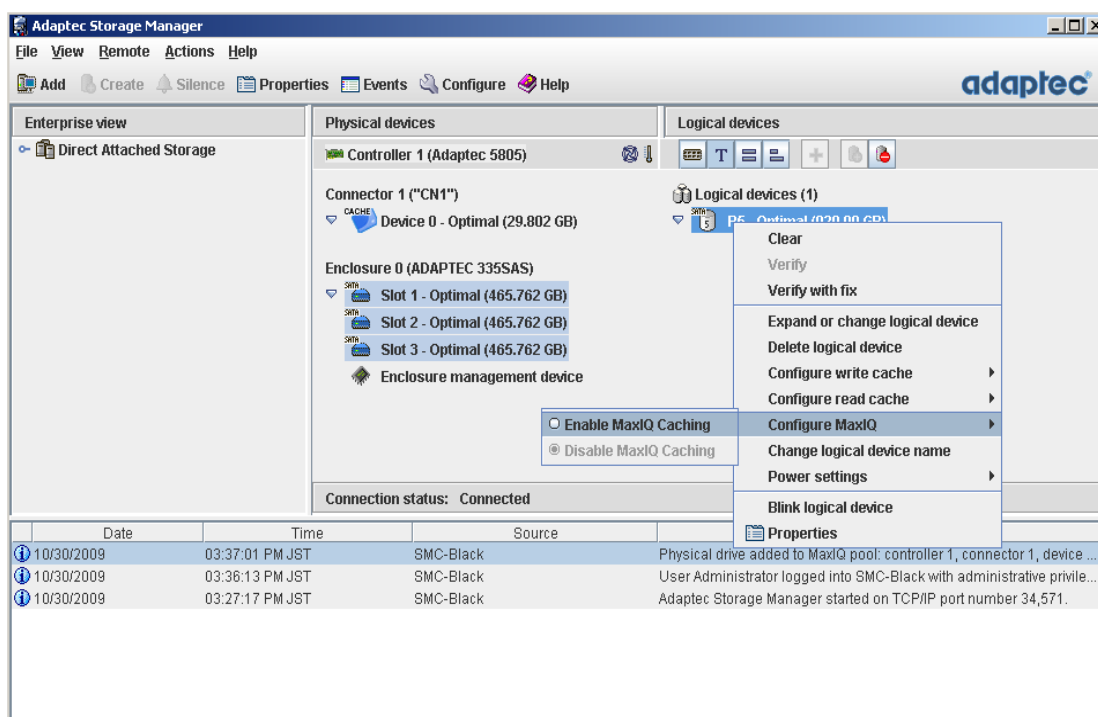
### Adaptec Storage Manager を使用して MaxIQ を設定するには、

**メモ:** MaxIQ キャッシュを論理ドライブで使用する前に、通常のリードキャッシュを有効にして、少なくとも SSD を 1 台は MaxIQ プールに割り当てする必要があります。

- 1) Physical Devices ビューで、Solid State Disk を選択します。
- 2) メニューバーで Actions を選択して、Add to MaxIQ Pool をクリックします。



- 3) SSD が MaxIQ プールに追加され、アイコンが変化してキャッシュの一部になったことを示します。
- 4) 論理ドライブで MaxIQ キャッシュを有効にするには、以下の手順に従います。
- 5) Logical Devices ビューで、論理ドライブを選択します。
- 6) メニューバーで Actions を選択し、Configure MaxIQ をクリックして、Enable MaxIQ Caching を選択します。



#### 6. MaxIQ SSD キャッシュ使用時のパフォーマンス改善について

MaxIQ SSD は”Enable”に設定されますと、リードキャッシュとして使用されます。

MaxIQ SSD キャッシュでは「Learned Path Algorithm(ラウンドパスアルゴリズム)」により、HDD アレイから読み出されるリードデータパターンを認識して、読み出し頻度の高いデータをこのリードキャッシュ(SSD)内に格納していきます。

次に同じデータのリード要求があったときに、コントローラは HDD アレイではなく、このリードキャッシュ(SSD)から読み出すことで、HDD のみのアレイに比べて、リード速度を劇的に改善します。したがって、MaxIQ SSD キャッシュを Enable にしてすぐはリードキャッシュ(SSD)内には格納されたデータが無い場合、パフォーマンスの改善はみられませんが、使用時間の経過と共にキャッシュ(SSD)内のデータにヒットするようになることで、リードパフォーマンス大きく伸張・改善するようになります。